



命・絆・元気の道

そして東紀州をひとつに

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の ストック効果

平成28年10月

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路（株）



国土交通省

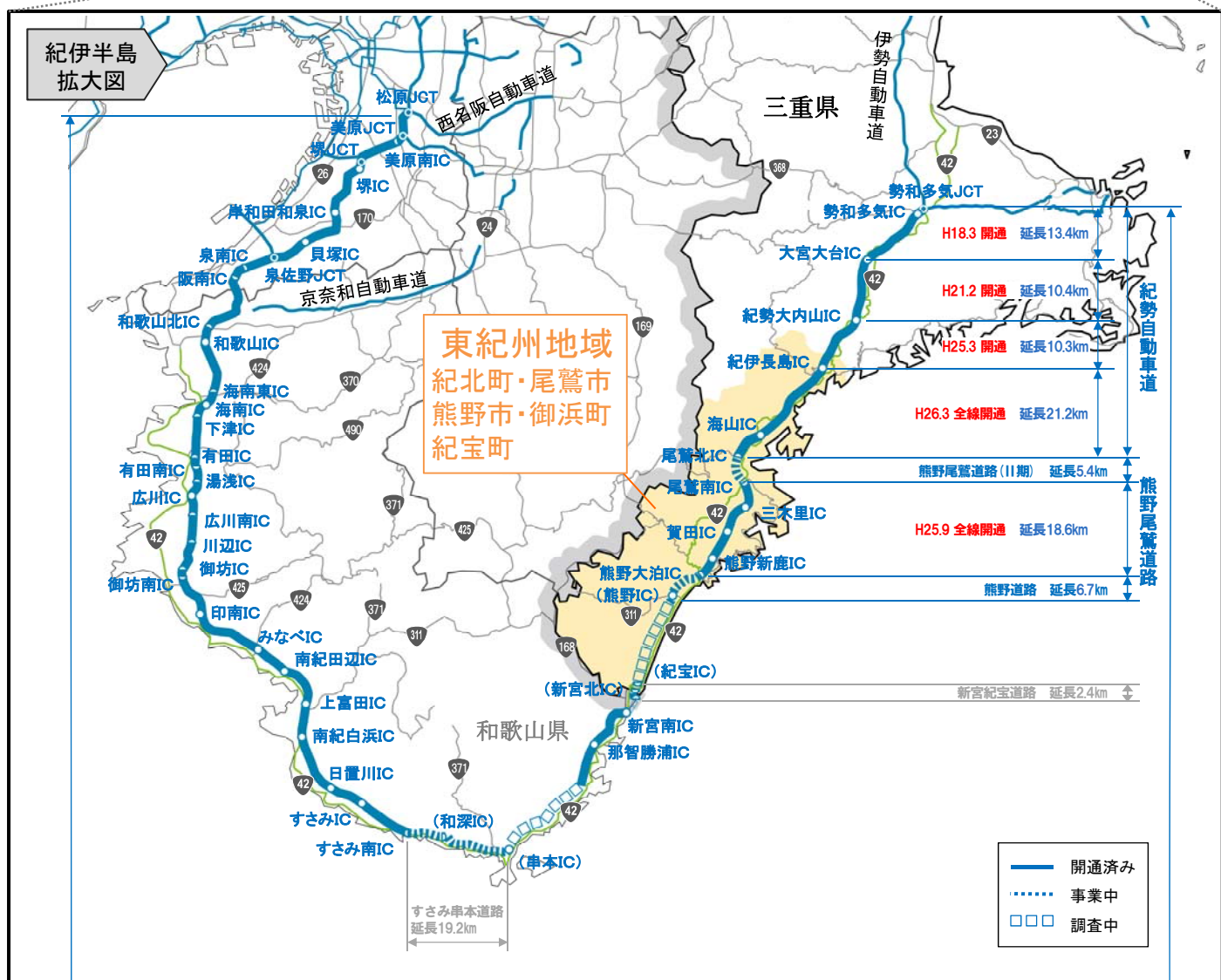
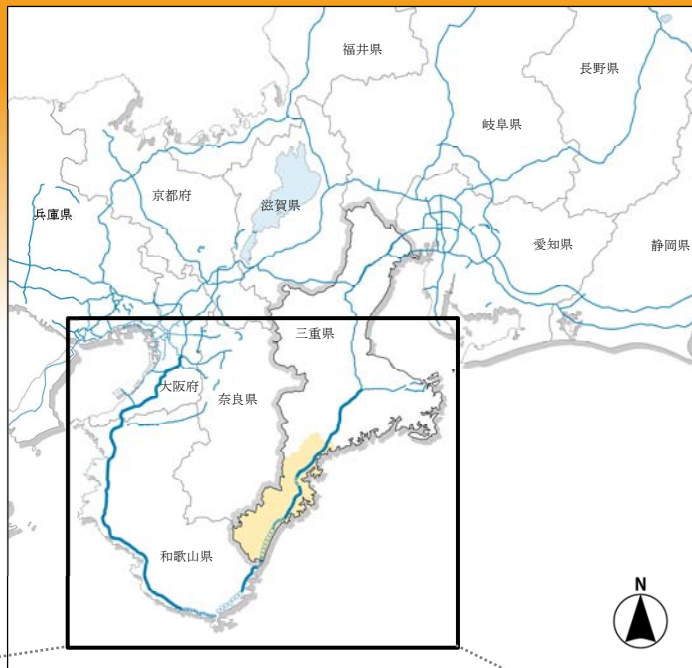


～目 次～

～紀伊半島をぐるっとつなぐ近畿自動車道紀勢線～	
東紀州地域がぐっと近くに！	・・・ P 2
～都市部から多くの観光客がわが町に～	
観光入込客数が過去最高を記録！	・・・ P 3
～都市部からの日帰り観光圏域が拡大～	
滞在時間が増加し消費額も増加！	・・・ P 4
～大自然を求め予約困難な人気施設に～	
キャンプ場の売上げが過去最高を記録！	・・・ P 5
～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～	
人気の花火大会に県外からの来場者が増加！	・・・ P 6
～より多くの立ち寄りや周遊観光が可能に～	
観光地へのツアーバスの立寄りが増加！	・・・ P 7
～長年、地域を悩ませた大雨による災害～	
陸の孤島からの脱却！	・・・ P 8
～南海トラフ地震への備え～	
津波から地域住民の“いのち”を守る！	・・・ P 9
～高度医療施設との連携強化～	
“いのちを救う”医療サービスが身近に！	・・・ P 10
～雨量規制による通行止を回避～	
病院の選択肢が増え安心して透析が可能に！	・・・ P 11
～地域企業が開通効果を実感～	
企業活動・業績がプラス！	・・・ P 12
～安定供給ルートが実現し、民間投資が拡大～	
養殖ブリの海外販路拡大を支援！	・・・ P 13
～荷痛み軽減・安定輸送が実現～	
三重南紀みかんの海外販路拡大を支援！	・・・ P 14
～精密製品の安定輸送が実現～	
地方の高い技術力で日本の住宅火災を守る！	・・・ P 15
～まちなかに多数の店舗が新規出店～	
にぎわいが創出され新規求人数も増加！	・・・ P 16
～スポーツ交流地としてのブランド化を推進～	
スポーツ交流宿泊者数が過去最高を記録！	・・・ P 17
～交通分散により渋滞が大幅減少～	
世界遺産で打ち上がる花火をゆっくりと！	・・・ P 18
資料のとりまとめにあたって	・・・ P 19

～紀伊半島をぐるっとつなぐ
近畿自動車道紀勢線～

東紀州地域が ぐっと近くに！

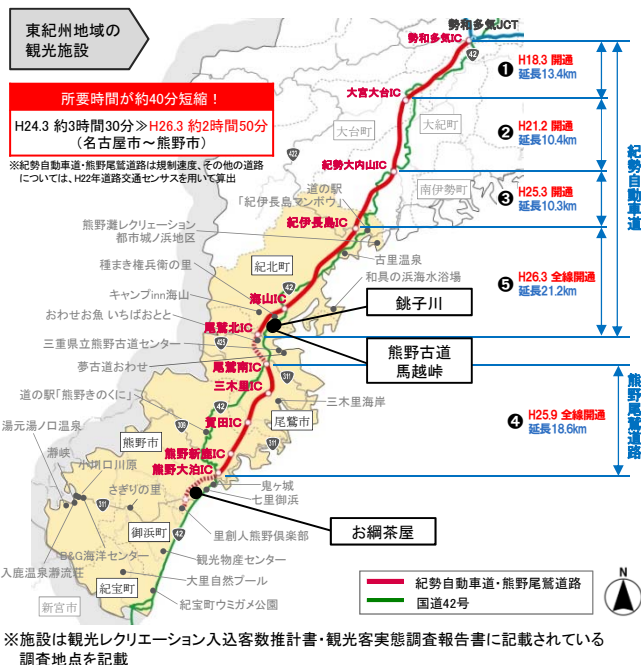


※()は仮称
※未開通区間のインターチェンジ名称は変更になる可能性があります。

～都市部から多くの観光客がわが町に～ 観光入込客数が過去 最高を記録！

熊野古道 馬越峠を歩く観光客（紀北町）

- ❖ 高速ネットワークの延長とともに、東紀州地域の観光入込客数が増加し、平成24年以降4年間連続で増加。
- ❖ 熊野古道は世界遺産登録10周年を経て、平成26年は過去最高の観光入込客数を記録。
- ❖ 高速道路未整備時である平成17年と全線開通後の平成27年を比較すると、観光入込客数は約1.6倍に増加。
〔三重県の他地域と比べ、約3割高い伸び率〕

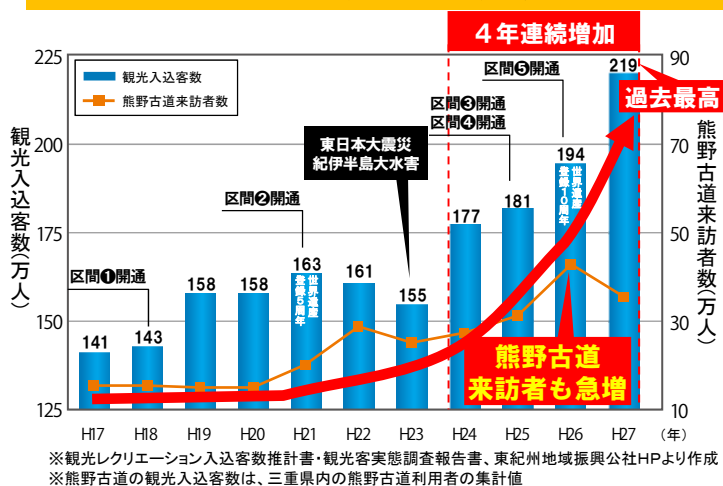


キャンプ客で賑わう清流 銚子川

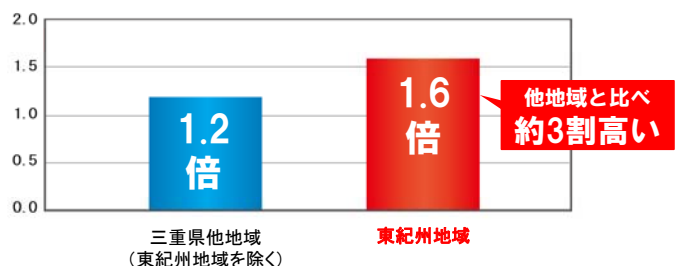


観光客で賑わう お網茶屋

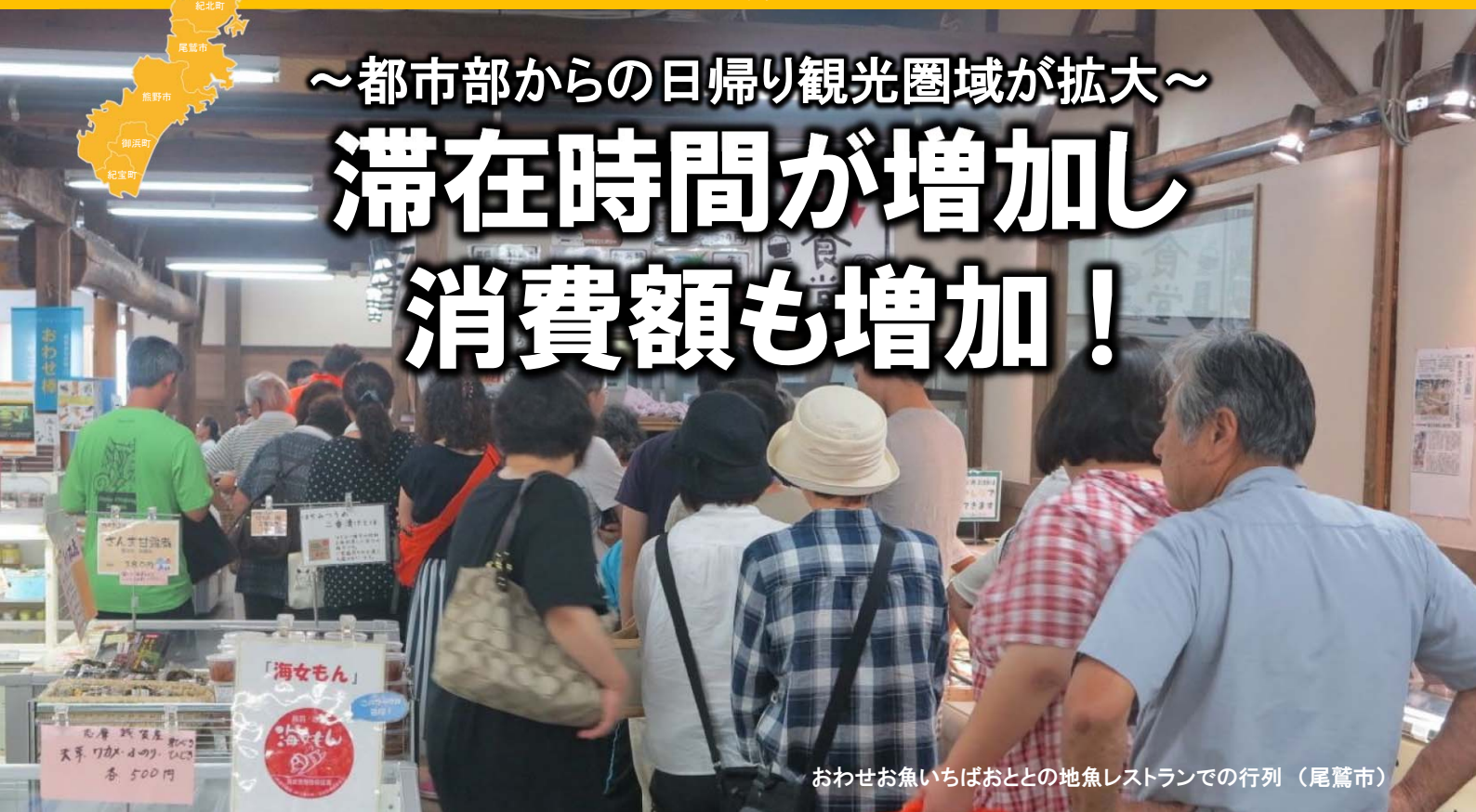
東紀州地域の観光入込客数の変化



観光入込客数の伸び率(H27年/H17年)

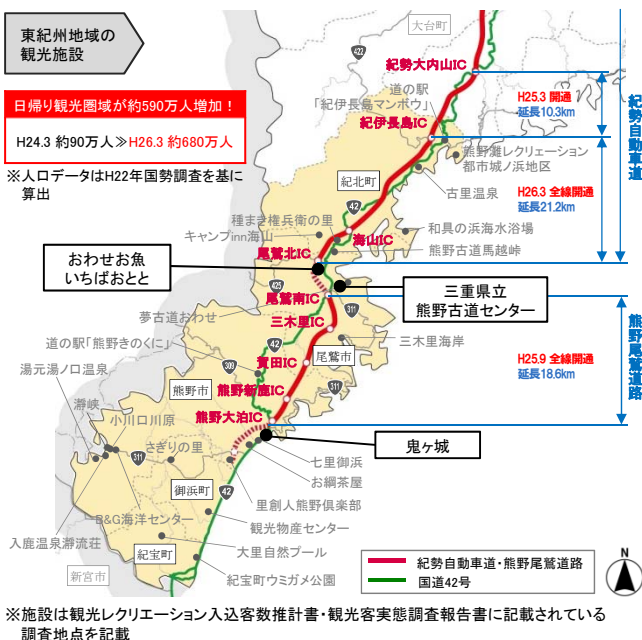


～都市部からの日帰り観光圏域が拡大～ 滞在時間が増加し 消費額も増加！



おわせお魚いちばおととの地魚レストランでの行列（尾鷲市）

- ❖ 東紀州地域の夏期観光期（7月～9月）の観光入込客数は、全線開通前の平成24年と比較し、開通後の平成26年は約4万人増加。
- ❖ また名古屋市などの都市部からの所要時間の短縮により、日帰り滞在時間・日帰り観光客1人当たりの消費額が、約1.4倍に増加。
- ❖ その結果、夏期の日帰り観光客による消費額が約8億円増加。



イベントに参加する観光客で賑わう
三重県立熊野古道センター



散策する観光客で賑わう 鬼ヶ城

東紀州地域における全線開通による変化

before（開通前 平成24年）

after（開通後 平成26年）

■名古屋市から熊野市への所要時間

所要時間 約3時間30分 → 約2時間50分 約40分短縮

■東紀州地域の観光入込客数(夏期)

入込客数 約58.1万人 → 約62.1万人 約4万人増加

■東紀州地域での日帰り滞在時間(夏期)

滞在時間 約288分 → 約390分 約1.4倍 (約100分)増加

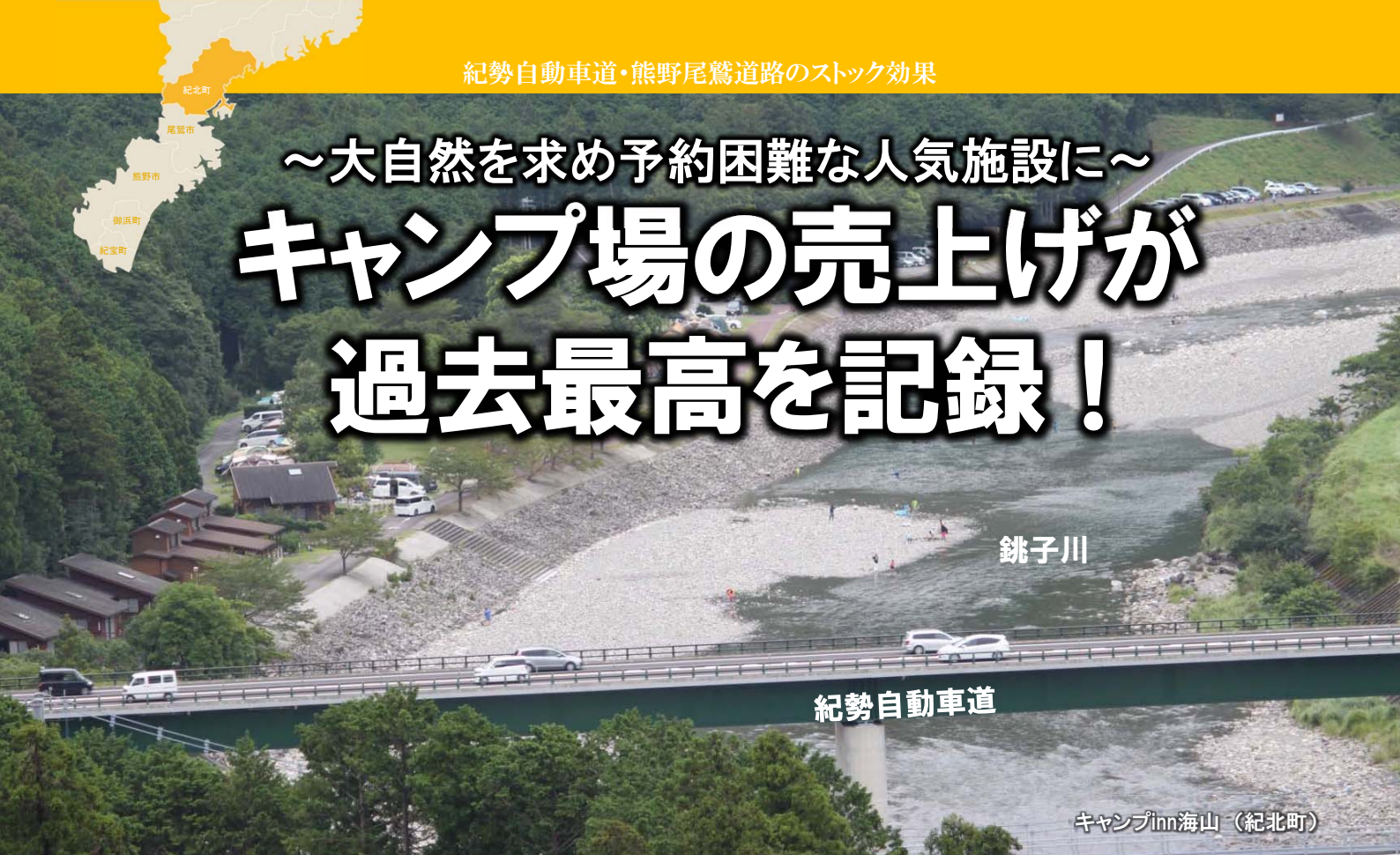
■東紀州地域での日帰り観光客1人当たりの消費額(夏期)

消費額 約3,950円 → 約5,642円 約1.4倍 (約1,700円)増加

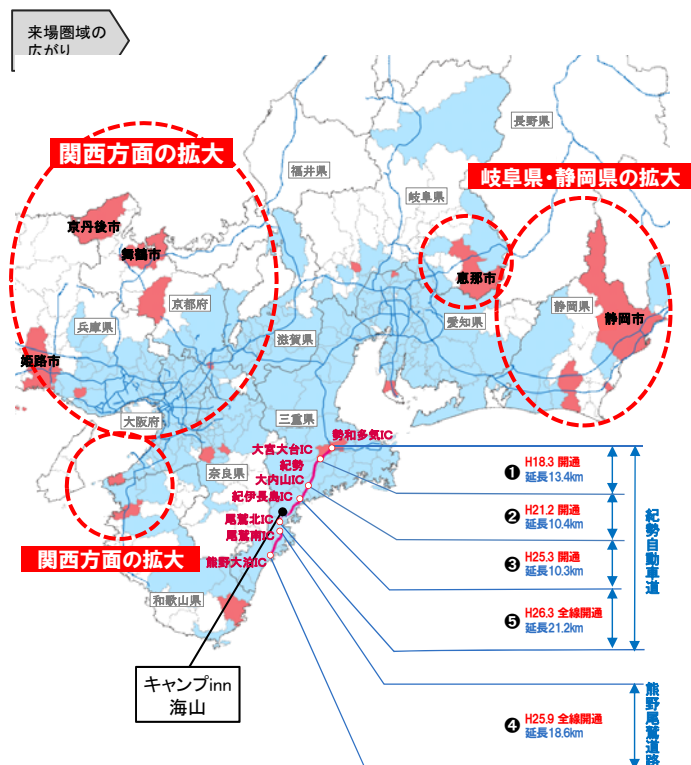
夏期の日帰り観光客による消費額が開通前に比べて
約8億円増加

※観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書より作成
※消費額は夏期(7月～9月)の日帰り観光客1人当たりの消費額に入込客数・滞在種別を乗じて算出

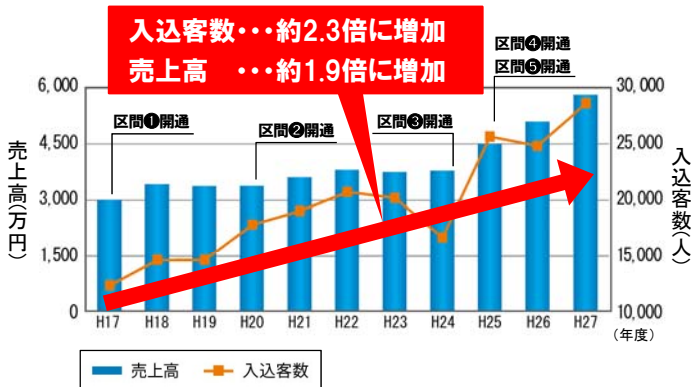
～大自然を求め予約困難な人気施設に～ キャンプ場の売上げが 過去最高を記録！



- ❖ 紀北町にあるキャンプinn海山では、高速道路の開通により**岐阜県・静岡県・関西方面に**来場圏域が拡大し、入込客数が高速道路未整備時である平成17年と全線開通後の平成27年を比較すると、**約2.3倍と大幅に増加**。
- ❖ また、**売上高も約1.9倍に増加し過去最高を記録**するなど、地域経済活性化を支援。



キャンプinn海山の入込客数・売上高の推移



※観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書より作成
※入込客数のH27年度データは紀北町提供(速報データ)より作成
※売上高は紀北町提供資料より作成



高速道路の開通効果もあり、**利用者数、売上げともに過去最高**となりました。
予約が満杯で、7、8月の夏休みに利用できない客が9月に宿泊するなど、新たな傾向も出ています。



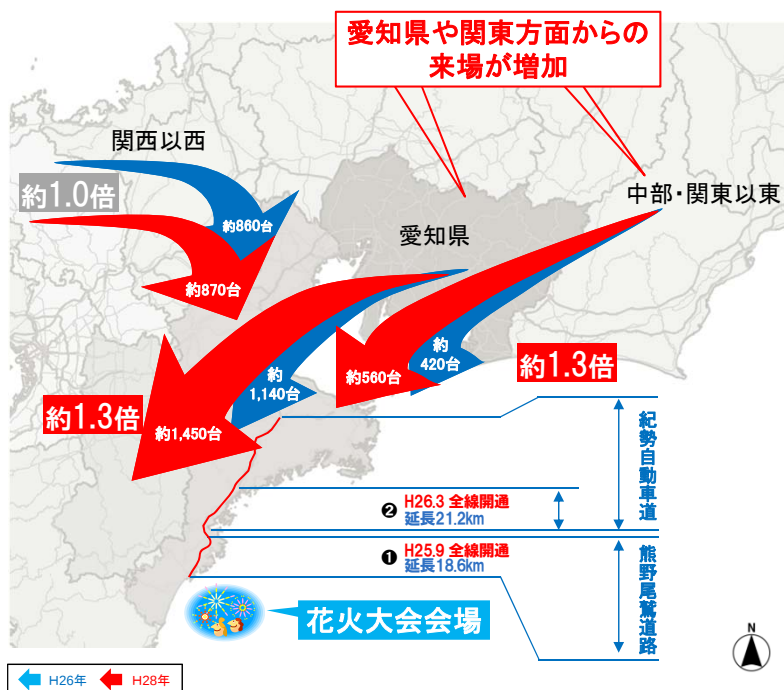
※紀勢国道事務所・紀北町によるヒアリング調査結果より作成

～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～ 人気の花火大会に 県外からの来場者が増加！

熊野大花火大会（熊野市）

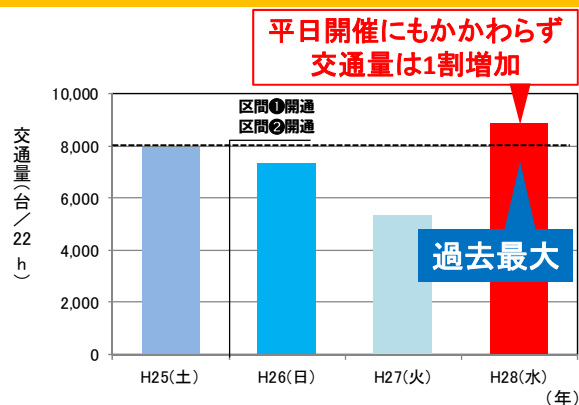
- ❖ YAHOO! JAPAN2016年版「有名花火師が選ぶおすすめ花火大会厳選10選」全国第8位、「東海の人気花火大会ランキング」第3位と人気の熊野大花火大会。
- ❖ 高速道路の開通により来場環境が向上したこともあいまって、愛知県や関東方面からの車での来場が約1.3倍に増加。
- ❖ 平成28年は平日開催にもかかわらず花火大会会場へ向かう交通量は、過去の土・日開催よりも多く、また平成25年の交通量調査開始以来過去最大を記録。

来場圏域の広がりが
(H28年/H26年)



※紀勢国道事務所による尾鷲南IC入口交差点におけるナンバープレート調査結果より作成
※調査対象車両は乗用車
※H28.3末時点の道路ネットワーク

花火開催日の国道42号下り(和歌山方面)交通量



県内外からの車で満車となる臨時駐車場



高速道路開通後、特に関東・東海地区からの来場が増えています。

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)・熊野道路が早期に開通することで、もっと多くの方に熊野大花火の魅力を感じていただきたいと思います。



熊野市観光協会
会長の声

※紀勢国道事務所・熊野市によるヒアリング調査より作成

～より多くの立ち寄りや周遊観光が可能に～

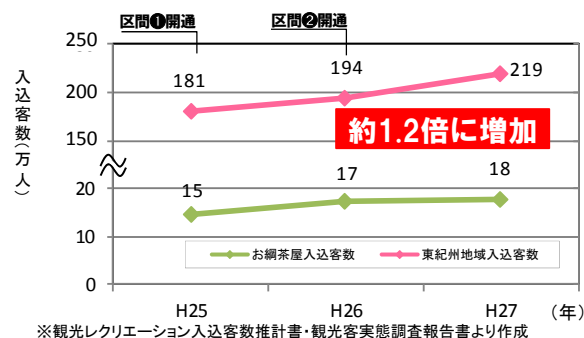
観光地へのツアーバスの立寄りが増加！

鬼ヶ城（熊野市）

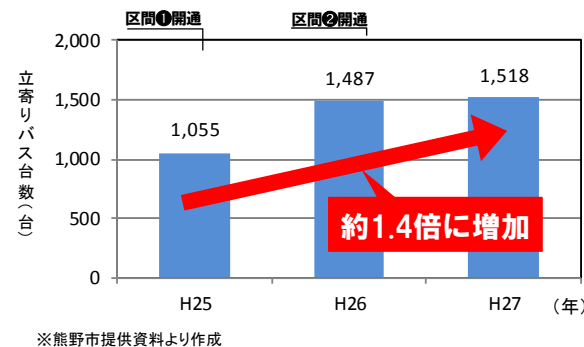
- ❖ 東紀州地域には、世界遺産「熊野古道」をはじめとした、魅力的な観光資源が多数存在。
- ❖ 所要時間の短縮により、滞在時間が増加し、より多くの箇所への立ち寄りや周遊観光が可能に。
- ❖ その結果、観光入込客数が増加するとともに、熊野市にある世界遺産「花の窟」に隣接する休憩施設では、ツアーバスの立寄台数が約1.4倍に増加。



花の窟(お網茶屋)における観光入込客数の変化



花の窟(お網茶屋)における立寄りバス台数の変化



鬼ヶ城では、旅行会社等への営業活動時に豊富な観光資源の見学とセットで売り込みを行っています。

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成



2016.10

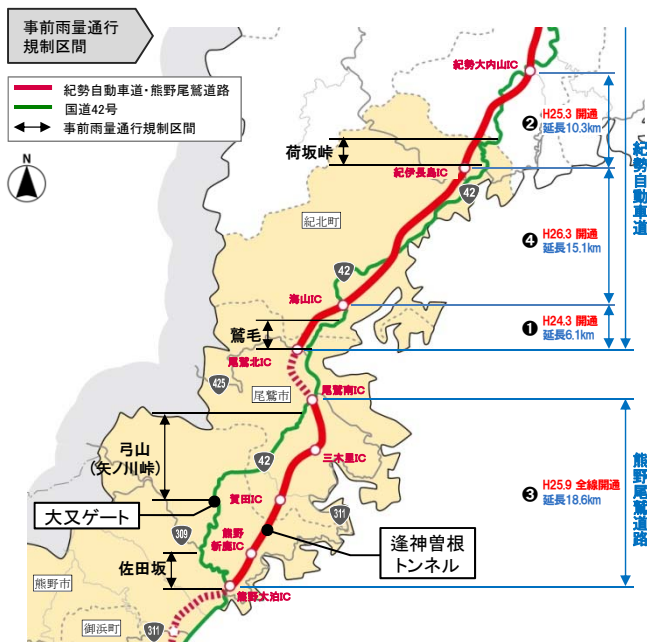
～長年、地域を悩ませた大雨による災害～ 陸の孤島からの脱却！



平成16年台風21号による国道42号での災害（紀北町）

- ❖ 平成16～25年度の過去10年間における事前雨量通行規制区間の通行止は延べ38回、469時間。
- ❖ 全線開通後の平成26年4月以降も※延べ11回、107時間の通行止が発生していますが、地域経済や地域間交流がストップすることなく、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路が国道42号の代替路として機能を発揮。

※平成28年9月末現在



※鷲毛はH25年10月の災害により暫定雨量規制を開始し、H26年12月に解除

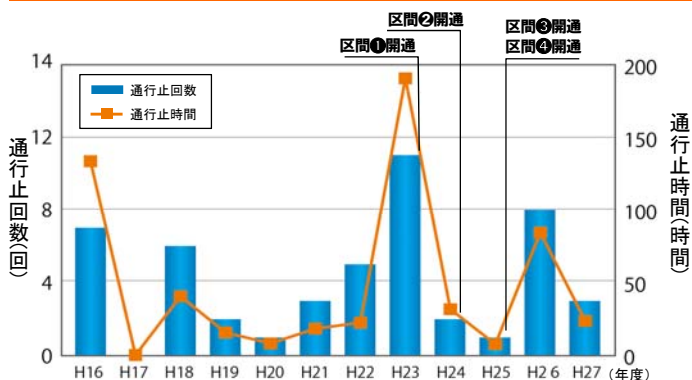


H25年災害(紀北町海山区)



H23年災害(熊野市大泊町)

事前雨量通行規制区間における通行止回数と時間



※紀勢国道事務所資料より作成



ゲートの前で通行止の解除を待つ渋滞の列



国道42号が通行止でも走行可能な熊野尾鷲道路

尾鷲市は国道42号事前雨量通行規制区間に挟まれ、通行止になると陸の孤島になっていました。現在では国道42号が通行止になっても高速道路があるので、医療・物流・人の移動などすべての面において安心です。



〔尾鷲市 市長公室長の声〕

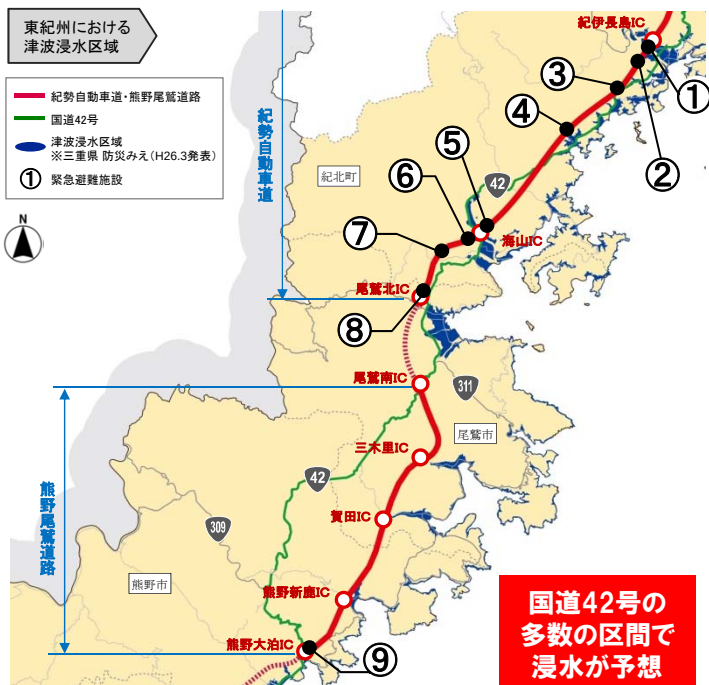
※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成

～南海トラフ地震への備え～ 津波から地域住民の “いのち”を守る！

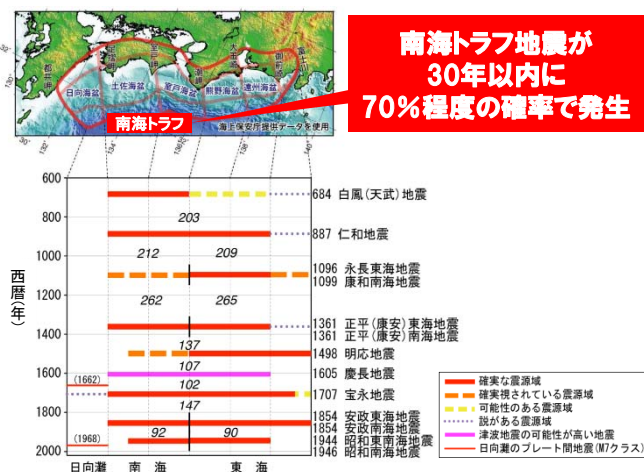


緊急避難施設での訓練状況（紀北町）

- ❖ 南海トラフ地震による津波被害の備えとして、高台に位置する高速道路の管理用通路等を緊急避難施設として整備し、自治体と連携を図り活用。
- ❖ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路では、全部で9箇所の緊急避難施設を整備し、地域住民の命を守る。



過去の大規模地震発生状況



※イラスト 文部科学省
地震調査研究推進本部「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」(H25.5.24)
※発生確率 文部科学省
地震調査研究推進本部「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(H28.1.1)

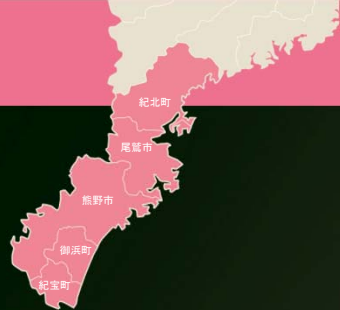


紀北町海山区船津(前柱)の緊急避難階段



昭和東南海地震による津波被害（尾鷲市）

※提供：尾鷲市 撮影：太田金典氏

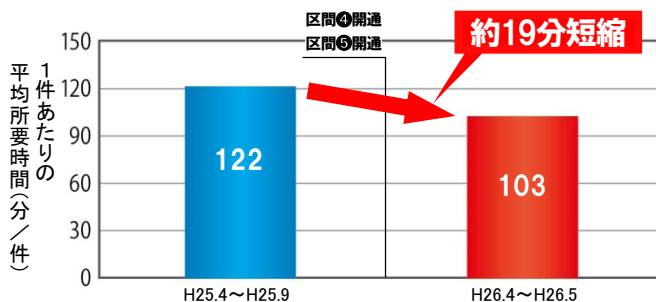


～高度医療施設との連携強化～ “いのちを救う” 医療サービスが身近に！

熊野尾鷲道路を通行する救急車両（尾鷲市）

- ❖ 東紀州地域は第3次医療施設の60分圏域外にあり、3つの第2次医療施設が連携・分担して地域医療を担っている状況。
- ❖ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、**紀南病院から伊勢赤十字病院への転院搬送時間は約19分短縮。**
- ❖ 安定走行が実現するとともに、搬送時間の短縮により、**第3次医療施設への転院搬送件数が大幅に増加。**

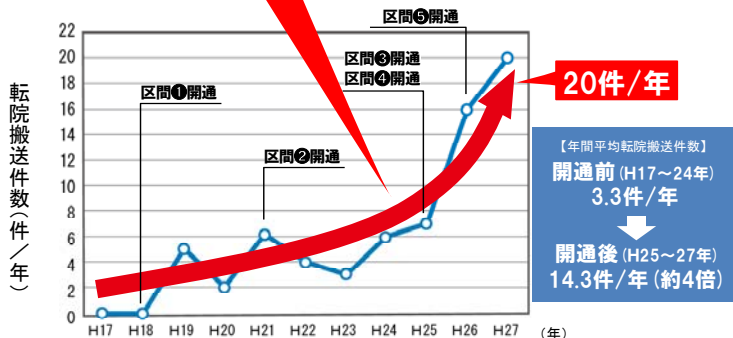
紀南病院から伊勢赤十字病院への転院搬送時間の変化



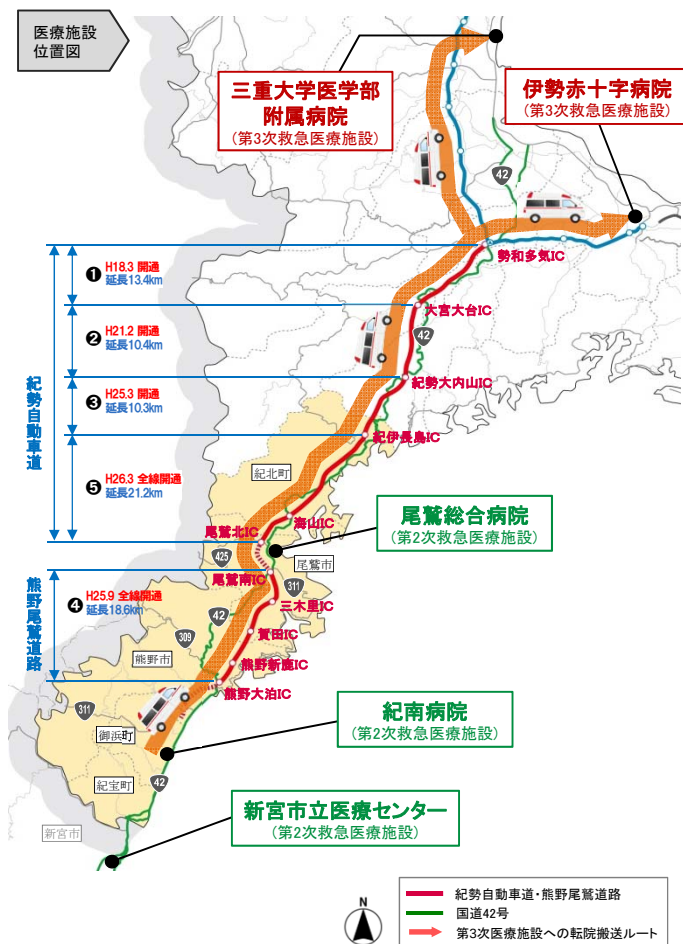
※熊野市消防本部提供資料より作成

東紀州南部地域※から第3次医療施設への転院搬送件数の変化

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、
第3次医療施設への転院搬送件数が大幅増加

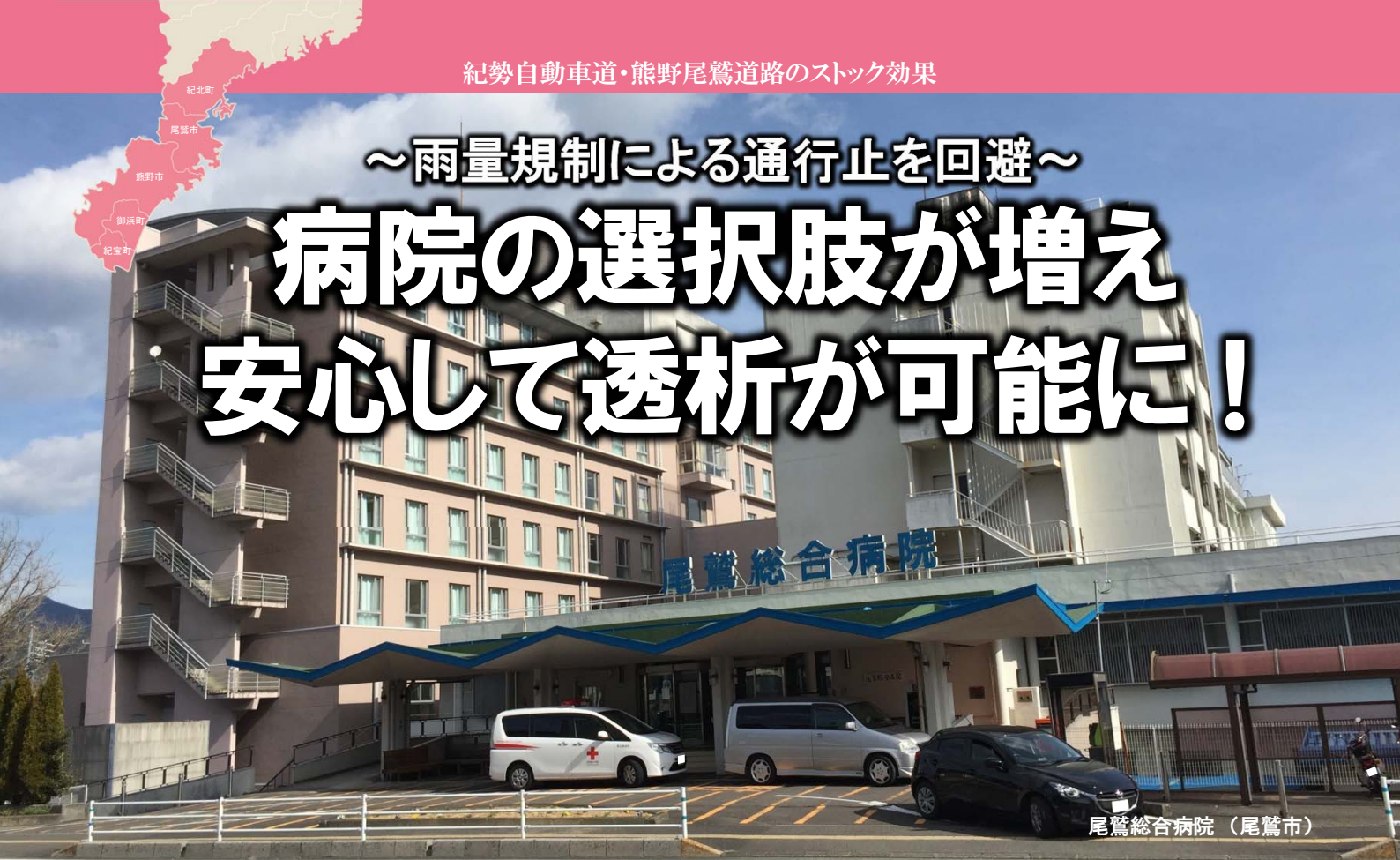


※東紀州南部地域：熊野市、御浜町、紀宝町
※熊野市消防本部提供資料より作成



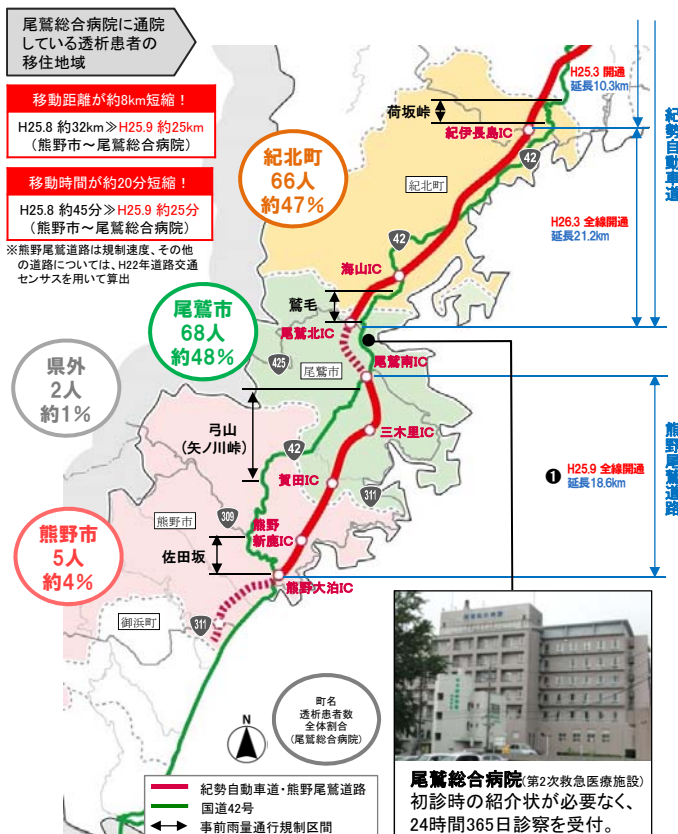
～雨量規制による通行止を回避～

病院の選択肢が増え 安心して透析が可能に！



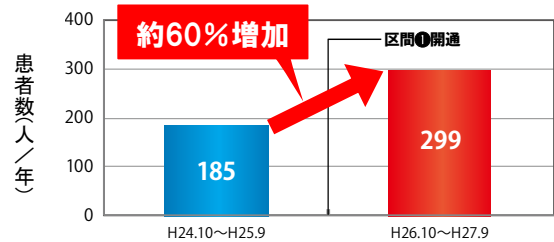
尾鷲総合病院（尾鷲市）

- ❖ 熊野尾鷲道路の開通による所要時間・距離の短縮により、**熊野市から尾鷲総合病院への新規患者数は約60%、外来患者数は約16%増加。**
- ❖ 尾鷲総合病院は**三重県内の公立病院で最多の透析患者を抱えています。**患者は1日おきに通院する必要があり、「大雨時でも事前雨量通行規制による通行止を心配せずに通院できるようになりました」との声も。



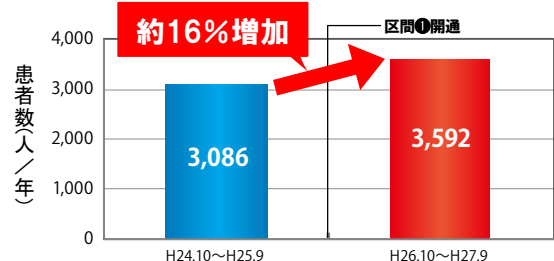
※透析患者数は平成27年12月現在
※鷺毛はH25年10月の災害により暫定雨量規制を開始し、H26年12月に解除

熊野市からの新規患者数の推移



※尾鷲総合病院提供資料より作成

熊野市からの外来患者数の推移



※尾鷲総合病院提供資料より作成 ※月に何度受診しても1人として算出

熊野尾鷲道路が開通したことにより、**熊野市から約20分**で通院できるようになり、新規患者・外来患者ともに増加しています。

尾鷲総合病院は、**三重県内の公立病院で最多の透析患者を抱えています。**透析は一日おきに通院する必要があり、患者からは**大雨時でも事前雨量通行規制による通行止を心配せずに通院**できるようになりましたとの声を聞きます。



〔尾鷲総合病院事務長の声〕

※紀勢国道事務所・尾鷲市によるヒアリング調査結果より作成

～地域企業が開通効果を実感～ 企業活動・業績がプラス！



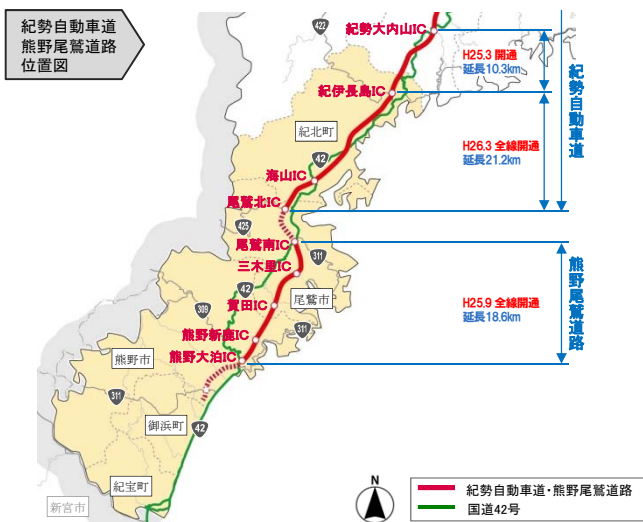
紀勢自動車道を通行する活魚車（紀北町）

❖ 東紀州地域に位置し、輸送を伴う企業258社※を対象に、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通効果に関するアンケート調査を実施し、120社が回答。（回収率：46.5%）

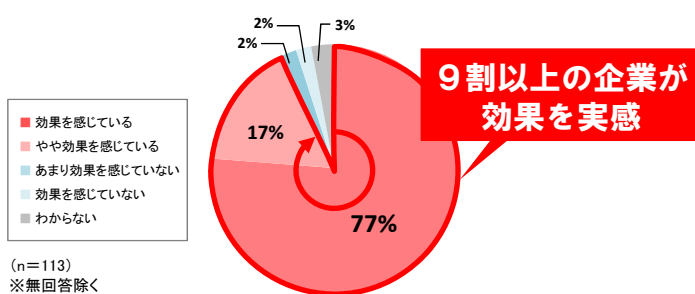
❖ 回答企業の9割以上が開通による効果を実感し、実感している効果は、第1位が「輸送時間の短縮」、第2位が「災害時等のリスク低減」。

❖ また、回答企業の7割以上が、開通により「業績にプラスの影響があった」と回答。

※（株）帝国データバンクに登録され東紀州地域に会社が位置し、業種が農業、林業、漁業、鉱業、製造業、運輸・通信業、卸売業に該当する企業



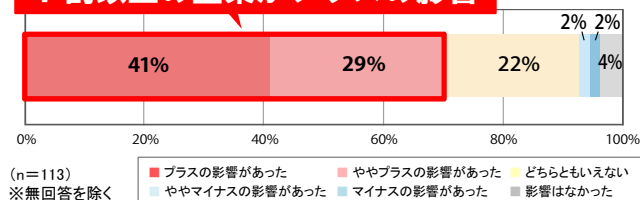
開通による企業活動への効果の実感



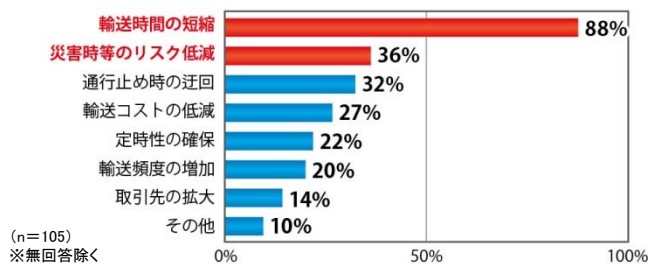
9割以上の企業が
効果を実感

企業の業績への影響

7割以上の企業がプラスの影響



実感している効果

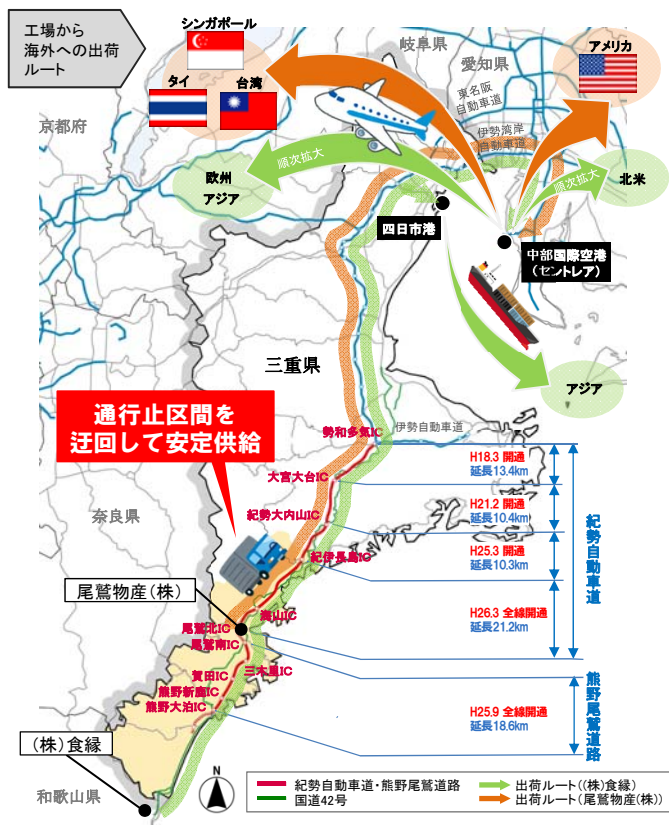


※紀勢国道事務所による東紀州地域の企業を対象にしたアンケート結果より作成
調査日：H27年11月6日(金)配布 同20日(金)回答締切 配布：258社 回収：120社(回収率：46.5%)
※回答を得た業種の内訳は、農業(8)、林業(2)、漁業(11)、鉱業(1)、製造業(41)、卸売業(38)、運輸・通信業(14)、不明(5)

～安定供給ルートが実現し、民間投資が拡大～ 養殖ブリの 海外販路拡大を支援！

養殖ブリ(鮮魚)の海外輸出の開始 (中部国際空港)

- ❖ 国内から海外へのブリの輸出量は、**8年で約5倍の成長産業**。
- ❖ 尾鷲市にある尾鷲物産(株)は、**新たに養殖ブリの「鮮魚」での海外輸出を開始**するとともに、水産加工品の輸出拡大に向け**約5億円を投資し、急速冷凍保管庫を建設**。
- ❖ 和歌山県新宮市にある(株)食縁では、加工処理能力が**国内最大級の水産物加工工場が竣工し、今後養殖ブリの海外輸出を開始予定**。
- ❖ **安定供給ルートの実現がいまって、民間投資が拡大**するとともに、高速道路が**養殖ブリのブランド化や更なる海外への販路拡大**など、地域産業活動を支援。



ブリ(冷凍)の海外輸出量の推移



出荷拡大に向け民間投資が拡大



国内最大級の水産物加工工場が平成27年12月に新宮市に竣工しました。養殖ブリの海外輸出を行うにあたり、**空港・港までの輸送手段である高速道路を繋げてほしい**と思います。



[(株)食縁 担当者の声]

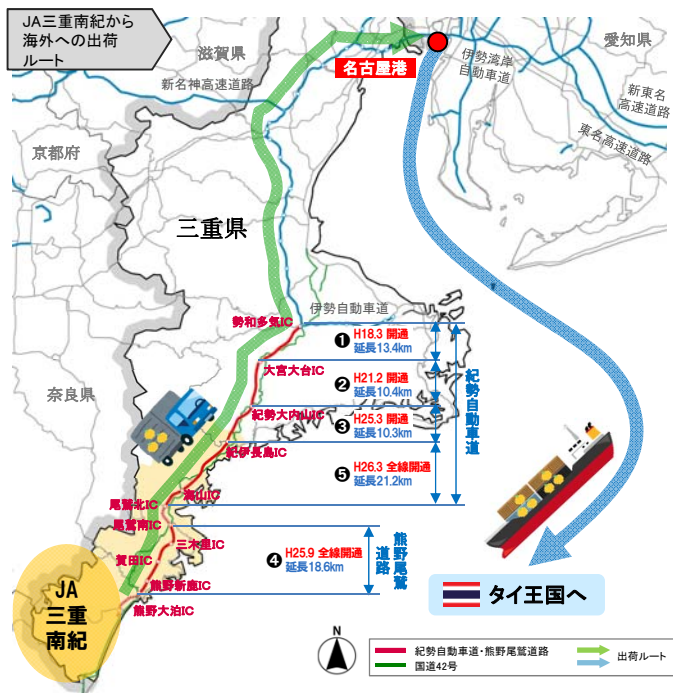
※紀勢国道事務所・紀宝町・新宮市によるヒアリング調査結果より作成

～荷痛み軽減・安定輸送が実現～ 三重南紀みかんの 海外販路拡大を支援！

「三重南紀みかん」の販売状況（タイ王国）

- ❖ JA三重南紀※は、地域の温暖な気候を活かした柑橘類の生産とブランド化を推進し、近年、「**三重南紀みかん**」を**タイ王国へ輸出**。（高級デパートで富裕層をターゲットに販売）
- ❖ 高速道路の開通により、峠道の揺れによる**荷傷みが少なくなるなど、安定輸送が実現し、輸出量が初出荷時から約13倍に増加**。

※JA三重南紀：熊野市、御浜町、紀宝町

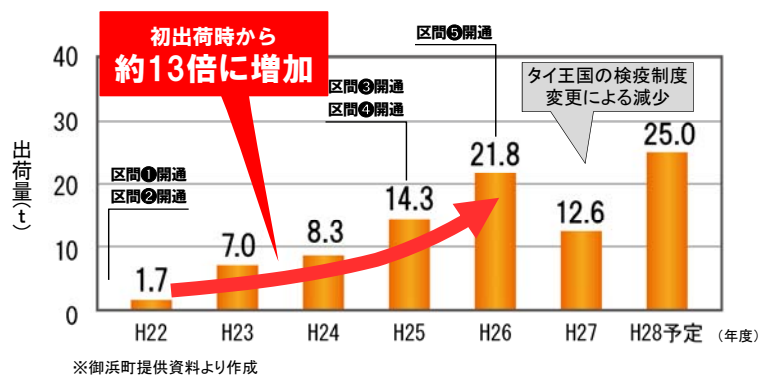


高速道路開通前はエアサスペンションを装備した車両のみを使用し、揺れによるみかんの荷痛みを防止していました。高速道路の開通により、**曲がりくねった峠道を選避することができ、みかんが痛みにくい**という効果を実感しています。

高速道路開通前の国道42号通行止時には、代替路が無く、通常2時間程で運送できる松阪市まで、**和歌山方面経由で6時間**かかったこともありました。

※紀勢国道事務所・御浜町によるヒアリング調査結果より作成

「三重南紀みかん」のタイ王国への出荷量の変化



紀勢自動車道開通による交通の変化



～精密製品の安定輸送が実現～ 地方の高い技術力で 日本の住宅火災を守る！

業界シェアNo.1

(※パナソニック調べ)



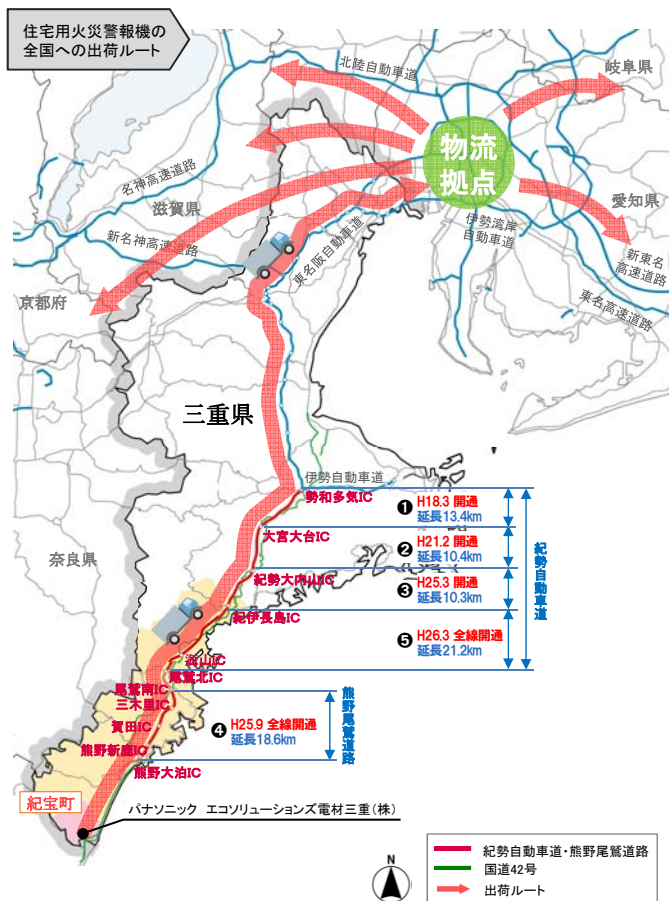
電池式ワイヤレス
連動型(親器)



電池式ワイヤレス
連動型(子器)

パナソニックエコソリューションズ電材三重(株)(紀宝町)

- ❖ 業界No.1のシェアを誇り、日本全国の家庭で使われているパナソニック製住宅用火災警報器を紀宝町内の工場で製造。
- ❖ 高速道路の開通により、**精密製品の安定輸送が可能となり、品質確保を支援。**
- ❖ 輸送インフラが充実した事もあいまって、**新たに工業団地へ進出し、事業規模を拡大**するとともに、今後、需要拡大に合わせ、**新たな雇用創出を予定**するなど、地域経済の発展が期待。



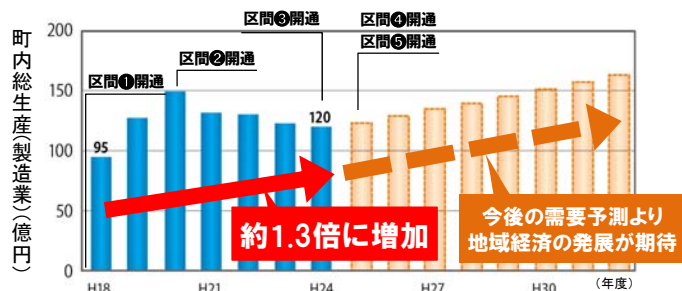
工業団地への進出

事業規模を拡大



井内工業団地に進出したパナソニック エコソリューションズ電材三重(株)

紀宝町の町内総生産(製造業)の推移



※三重県の市町民経済計算より作成

自然豊かで**製品の輸送インフラも充実してきたこの町**で、事業を拡大して雇用創出に貢献したい。

※H27年3月27日 工業団地売買契約書調印式での会見より作成

「パナソニックエコソリューションズ」
電材三重(株)の声

～まちなかに多数の店舗が新規出店～ にぎわいが創出され 新規求人数も増加！

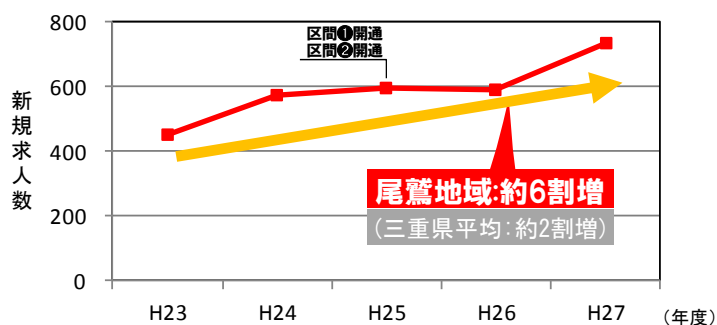


国道42号沿道の状況（尾鷲市）

❖ 高速道路の開通にあわせ、尾鷲市内では、多数の店舗が新規出店。

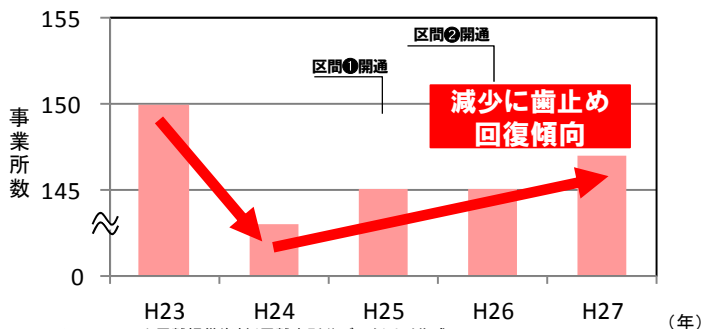
❖ まちの“にぎわい”が創出されるとともに、卸売・小売業の新規求人数が年々上昇し、地域の雇用が創出。

新規求人数の推移(卸売・小売業)



※ハローワーク尾鷲提供資料(尾鷲本所分データ)より作成

事業所数の推移(卸売・小売業)



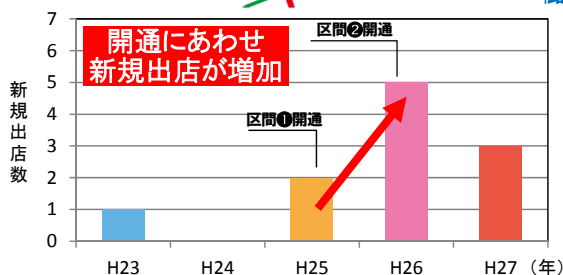
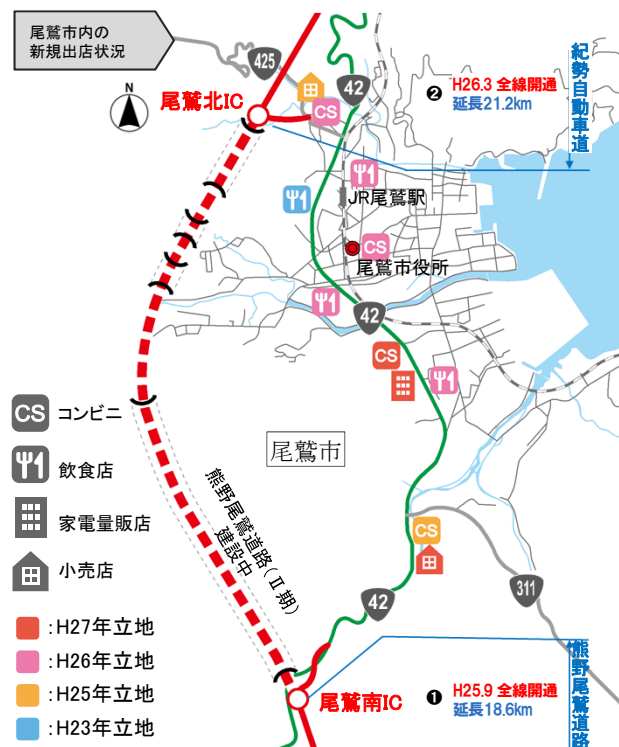
※ハローワーク尾鷲提供資料(尾鷲本所分データ)より作成
※事業所数は雇用保険適用事業所のみ
※データは各年3月31日現在

新規出店した理由としては、通行止めがなく、商品の安定的供給の面も大きいですが、時間短縮が一番のメリットです。高速道路が開通した影響は非常に大きいと感じています。

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成



コンビニエンスストアの声

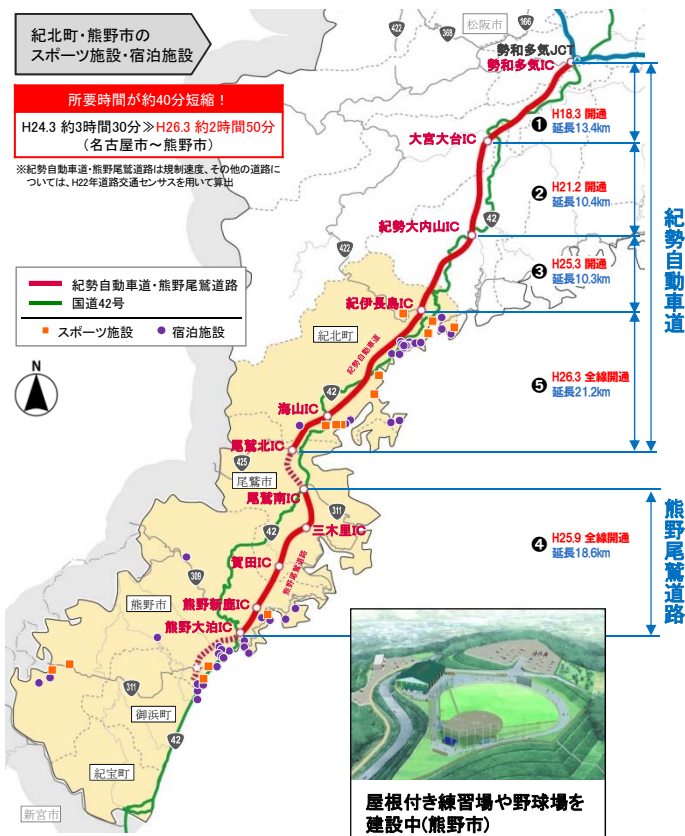


※尾鷲市提供資料より作成
※尾鷲市内での移転は除く

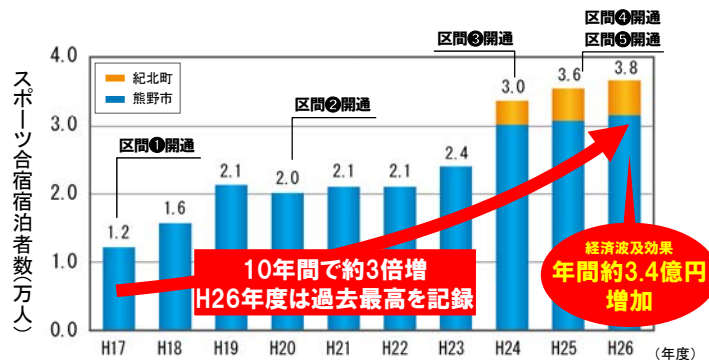
～スポーツ交流地としてのブランド化を推進～ スポーツ交流宿泊者数が 過去最高を記録！

熊野SUPマラソン2015（熊野市）

- ❖ 高速道路の延伸に伴う交流圏域の拡大と温暖な気候条件を活かし、紀北町・熊野市では**スポーツ交流地としてのブランド化を推進**。
- ❖ 世界少年野球大会をはじめとする全国的なスポーツ大会が開催されるなど、**スポーツ合宿宿泊者数**は高速道路未整備時である平成17年と全線開通後の平成26年を比較すると、**約3倍に増加し過去最高を記録**。

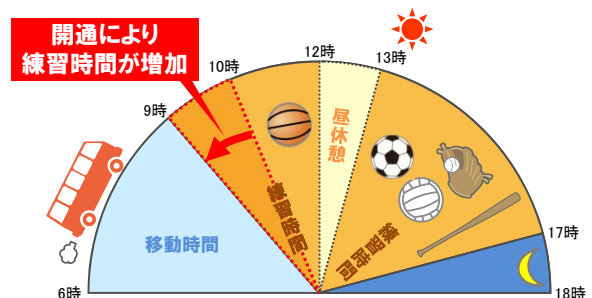


スポーツ合宿宿泊者数の変化



※紀北町、熊野市提供資料より作成
※経済波及効果は消費額(宿泊・飲食)の直接・一次・二次間接波及効果の合計額
※観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書、三重県産業連関表にて算出

スポーツ合宿の行程の変化



※紀勢国道事務所による星城大学へのヒアリング結果より作成

※紀北町、熊野市のHPに掲載されているスポーツ施設、宿泊施設を記載



～交通分散により渋滞が大幅減少～

世界遺産で 打ち上がる花火をゆっくりと！

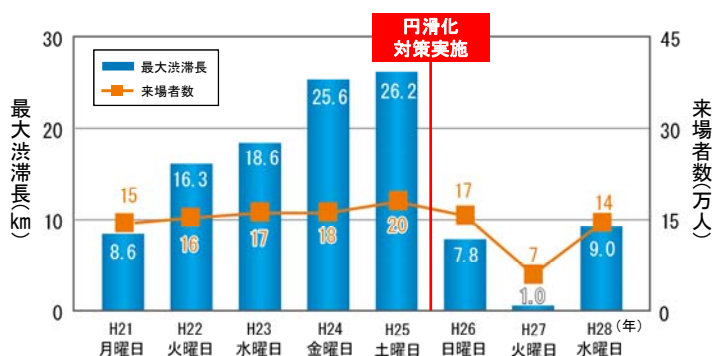
熊野大花火大会 2015（熊野市）

- ❖ 毎年8月17日に開催される熊野大花火大会は、多くの観客が訪れ、賑わいを見せている反面、国道42号をはじめとした会場周辺の道路では**交通集中による深刻な渋滞が発生**。
- ❖ 渋滞緩和に向け、熊野尾鷲道路は「バスなどの公共交通のみ通行可」とし、一般車は国道42号を通行し、交通分散を図る**円滑化対策を実施**。
- ❖ 平成25年に**最大約26kmあった渋滞が、平成26年には約8kmと大きく減少し、渋滞緩和に貢献**。



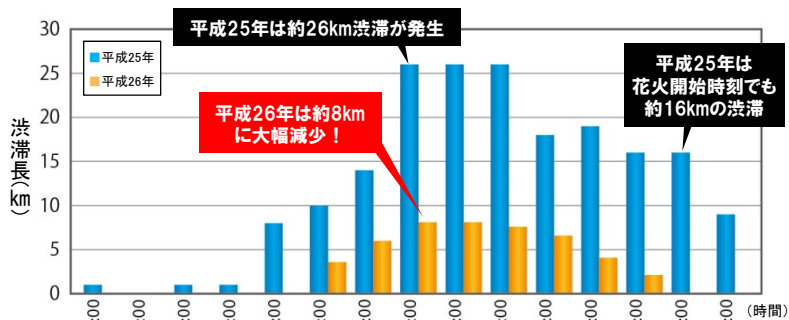
熊野尾鷲道路のバス通行状況

来場者数と国道42号の最大渋滞長の変化



※H27は大雨と高波により延期

国道42号 和歌山方面へ向かう渋滞長



※花火大会会場を先頭とした渋滞長

東紀州地域高速道路整備効果検討会

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路は平成26年3月30日に全線開通し、

国・高速道路会社・県・市町が一体となり

「東紀州地域高速道路整備効果検討会」を設立しました。

東紀州地域では高速道路の開通以前より、

自治体・民間による投資、キャンペーン等の取組の結果、

観光入込客が過去最高を記録するなど、

様々なストック効果※が現れています。

今回、高速道路の開通がもたらした様々な効果を

「国・高速道路会社・県・市町が一体」となって幅広く調査・分析する事で

「個々では見えなかった効果」などを把握し、それを広くPRする事などにより、

東紀州地域の更なる地域活性化・地方創生に期待しています。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省

三重県県土整備部道路企画課

尾鷲市市長公室

熊野市市長公室

紀北町企画課

御浜町企画課

紀宝町企画調整課

中日本高速道路株式会社名古屋支社

国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所



高速道路開通を祝う行燈（熊野市）

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路（株）



国土交通省